

砂川中学校「ふれあい学校給食」に参加して

野菜ランドみやこ 根間玄孝

今年も学校給食記念週間（戦後学校給食が再開されたことを記念し、給食に携わる人々の苦勞を知り感謝の気持ちを表す日）の1月24日に、砂川中学校のご招待を受け「ふれあい給食」に参加してきました。代表の生徒さんから給食づくりに携わっている方々や私達生産者、野菜ランドみやこへの感謝の気持ちが伝えられ、心温まる挨拶を聞くことができました。参加した野菜ランドのメンバーからも日々の仕事の内容や紹介などがあり緊張したと思いますが、それぞれの気持ちを話されていました。一緒に給食を頂きながらの交流では多くの気づきや感動もあり、生産者として自分の仕事に誇りが持てたことだと思います。招待して下さった砂川中学校の生徒・先生方に感謝です。ありがとうございました。



たんじょうび
おめでとう



奥原淳子さん (64歳)

生活介護事業所みやこ



元気が一番の淳子さん、午前中の配達時も我先にと慌てん坊が過ぎてヒヤッとすることもありますが、ゆっくりですよと声かけし、レクでも3B体操や動作法、日本舞踊と身体を動かし楽しむことが大好き。今年はゆったり慌てず楽しんですごしましょうね。

生活支援員 濱川尚美

下地徳子さん (58歳)

みやこ学園園芸班



徳子さん誕生日おめでとうございます。作業も集中して取り組む時間が増えていきますね。とても嬉しいです。苦手な作業もありますが、少し頑張る事で楽しくなりますよ。体調管理をして1年間頑張りましたね。生活支援員 前泊淳子

砂川みゆきさん (32歳)

アダナス



手先が器用で丁寧な成形が出来るみゆきさん。頼りになる存在ですよ。まずは継続出勤が出来る様に少しずつ良いので意識を持ってもらえたら嬉しいな。苦しい時も一緒に乗り越えられるようにしていこうね。

工賃達成指導員 上地美奈子

友利彰男さん (39歳)

みやこ学園出向班



毎日自転車通勤をしている彰男さんです。作業では持ち前の力を発揮して公園清掃・除草作業を行ってくれています。これからも班の皆さんと協力しながら頑張っていきましょうね。

職業指導員 神里忠

3月 行事予定

- 10日(火) 工賃支給日
 - 11日(水) 生活介護レク* 動作法
 - 18日(水) 生活介護レク* 日本舞踊
 - 20日(金) 春分の日
 - 25日(水) 施設内健康診断
- *生活介護レク 午後1時半～2時半
ゆいホールII

新型コロナウイルス感染症防止について ご家庭での協力よろしくお願い致します

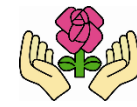
◎予防対策

- 石けんやアルコール消毒液を使った手洗い
- 咳が出る時にはマスク着用、咳エチケットの励行
- できるだけ人ごみの多い場所を避ける
- 毎日の体温チェック (37.5℃以上の時は自宅休養をお願いします)

◎感染したかもと思ったら 相談窓口ご連絡し相談してください

- 風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合

コロナウィルスに係る相談窓口 宮古保健所 73-5074



学園だより

メールアドレス

miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp

令和2年

第222号

みやこ学園

3月発行

社会福祉法人 みやこ福祉会

表彰状を書く
盛島愛翔さん

支え合い助け合おうよ 宮古の仲間たち！ ～宮古地区知的障がい者スポーツ大会～

障害者就業・生活支援センターみやこ 谷口紗織

2月19日、宮古地区手をつなぐ育成会主催の宮古地区知的障がい者スポーツ大会がJTAドーム宮古島にて開催され、地域活動支援センターあだん、あけぼの学園、みやこ福祉会の3施設8チームの選手約200人が参加しキックベースボールなどを楽しみました。毎年参加している参加者が戸惑っているチームメイトに声を掛けて助け合ったり、ボールに飛びつくガッツ溢れる様子や、相手チームの守備にキャッチされアウトになり残念がる場面など、笑顔溢れる一日となりました。主催者はじめ、参加者、各事業所スタッフ、関係機関の皆様、ありがとうございました。



あねら ♪愛音楽音楽祭に参加しました♪

みやこ学園 前泊淳子



2月8日第13回愛音楽音楽祭が沖縄市ミュージックタウン音市場にて開催されました。「自分に出来る事で演奏に参加し、それを支えるたくさんの人達との感動と喜びを分かち合う。生きる・活きる楽しさを伝える音楽祭」で、みやこ福祉会からも選抜メンバー5名が出場「楽しむ」を合い言葉に週2回練習してきた歌とダンスを披露させて頂きました。緊張している様子は見られましたが、笑顔もあり目標である「楽しむ」を達成出来たと思います。また、参加出来たことで利用者さんそれぞれに沢山の可能性がある事を再確認した音楽祭となりました。頑張ってくれた利用者のみなさんお疲れ様でした。



本番前も笑顔



翌日は観光を楽しみました



幸運の白蛇と♡



鍾乳洞

2019年度「ディスカバー農山漁村の宝」授与式

みやこ福祉会理事長 伊志嶺博司

2019年度「ディスカバー農山漁村の宝」にみやこ福祉会が選定され、2月19日沖縄総合事務局の田中農林水産部長室で授与式が行われました。この賞は内閣官房及び農林水産省が「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」実現に向け農山漁村の潜在力を引き出すことで地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事業所として、全国への発信を通じて他地域への横展開を図る目的で実施されています。今回みやこ福祉会が選定された事に対し、田中農林水産部長から、健全者と障がい者が等しく生きる地域社会や福祉環境の実現を目指した取り組みが高く評価された事との激励のお言葉を頂きました。

みやこ福祉会を立ち上げて19年その間、障がい者の処遇の改善や安定した生きがいを持つようグループホームや野菜ランド・パン工房・レストランなど8事業所を開設し、地域に密着した取り組みが評価された事だと感謝しています。今後も障害者が今よりもっと住みやすい福祉環境の実現に福祉関係者や地域の方々と共に取り組んでいきたいと思ひます。



田中農林水産部長室での授与式

花緑ちゅらポート イベントを盛り上げました！

みやこ学園 サービス管理責任者 瀬名波正敏

2月15(土)・16日(日)の両日にわたり花緑ちゅらポートのイベントが開催されました。主催者は沖縄県環境再生課から発注の空港及び港湾飾花設計監理業務委託を受託している(株)トロピカル・グリーン設計です。宮古空港には島の玄関口として島の第一印象を決める重要な役割があり、離島観光への期待に応えられるような整備が必要であることから、宮古空港を多くの花や緑で彩ることでブランドイメージを高めることを趣旨目的としている事業で、各関係機関(ターミナルビル、空港管理事務所)との協力も得ながら進められています。

イベントでは押し花体験、撮影スポットでのまもる君との記念撮影、事業紹介等がされていました。観光客はじめ地元の皆さんなど大勢の方が体験や記念撮影を楽しむ姿が見受けられました。

みやこ福祉会も、宮古空港飾花業務委託を沖縄県から受託し、宮古空港入り口前、旅客ターミナル前に花壇植栽(草花、多年草等の植栽:4,400本)及び草花プランター(500基)の設置、管理を行っています。また、フナイマーク広場の撮影スポットを草花・プランター・木などで彩り「宮古空港」の文字をバックに記念撮影ができるようになっています。このような事業を通して利用者の皆さんは仕事への達成感であったり、自信に繋がることができています。また工賃増加にも寄与しております。今後も観光客、地元の方、すべての皆さんがくつろげる癒しの場所であるよう、さらに宮古島の観光に貢献できるよう取り組んでいきますのでよろしくお祈りいたします。今回のイベントを企画していただいた、トロピカル・グリーン設計の皆さん本当にありがとうございました。



設計業者のアドバイスをを受け設置



空港にお寄りの際は是非一枚



松田建一氏

強度行動障害のある方が毎日楽しく働くために

私たちが理解すべき事、やるべき事(法人研修会)

相談支援事業所みやこ 石嶺咲希

2月17日みやこ学園食堂にて、みやこ福祉会法人研修会を行いました。講師に社会福祉法人若竹福祉会地域生活支援センターEnjoyの松田建一氏をお招きし、強度行動障害への理解と支援の組み立て方についてご講話頂きました。強度行動障害の基礎理解と強度行動障害のある方に対して若竹福祉会での取り組みをうかがい、行動の裏にある本人なりの「分からない」「伝わらない」「不安」の表現の意味を支援員自身が考え、日頃から本人の動きや変化を情報共有し記録、スケジュール化していくことでパニックを引き起こさず、安定に繋がっている事例をお話頂きました。また、ネガティブな表現をポジティブに言い換えるグループワークを通して、事業所ごとに意見を出し合い、一見弱みに感じる部分も視点を変えれば可能性に繋がることが学びました。もっと本人や家族のことなど情報収集を行い、行動や気持ちの変化の背景にはなにがあるのか、日々考えながら向き合っていきたいと感じました。社会福祉法人若竹福祉会の松田さん、貴重なお話とざっくばらんな意見交換、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

*強度行動障害とは、自分の体を叩いたり、食べられない物を口に入れる、危険に繋がる飛び出しなど本人の健康を損ねる行動、他人を叩いたり、何時間も大泣きが続くなど周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こるため、継続的に配慮された支援が必要になっている状態。



障害者虐待防止・権利擁護研修会

みやこ福祉会 庶務課長 與那城要



2月19日、沖縄県手をつなぐ育成会砂川副理事長(写真左)を講師として障害者虐待防止・権利擁護研修会(宮古地区手をつなぐ育成会主催)が行われ、今注目されているテーマということで参加者70名と会場一杯でした。始めに近年の宮古地区の虐待認定件数や種別などの統計が宮古島市障がい福祉虐待防止担当山城氏(写真右)より報告があり、その後砂川氏より虐待定義や虐待行為などが事例を交えて説明され、また虐待を防止するために事業所として取り組んでいくことなどが示されました。虐待行為は人間の尊厳を大きく傷つける行為でありこれを防止していくため平成24年より障害者虐待防止法が制定され通報義務や事業所での虐待防止の取組みの強化がうたわれております。研修を受けることで虐待に関する知識を深められ日々の業務振り返りを行うことができ明日からの支援に大きな助けになりました、このような機会を定期的に設け虐待防止に取り組んでいきたいと感じました!

宮古・八重山地区 障害者就業・生活支援センター(ナカポツ)連絡会議

障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里裕丈

沖縄県には5つのナカポツがありますが、離島の宮古と八重山地区では毎年連絡会を行っています。今年は宮古開催で、今年度の取組や互いの地域連携の在り方など、多くの情報を交換し合いました。また同日に開催された宮古島市地域自立支援協議会就労支援部会にもご参加いただき八重山の情勢等も情報提供頂き意見交換を深めることができ、「宮古の就労支援部会の活発な意見交換の雰囲気驚きました」と嬉しい感想も頂きました。今後も連絡会議のみならず小地域でのナカポツの役割、あり方を相互に高められるようにしていきます。



八重山地区障害者就業・生活支援センターどりいむ 本村さん・明さん

なぜかけ

先月大好評だった「なぜかけ」、これからも時々掲載していきたいと思ひます。

みやこ学園園芸班利用者のK・Nさん考案のなぜかけ、お楽しみください!

- ①「卒業」とかけて、「果物」と説く。その心は・・・?
- ②「ひな祭り」とかけて、「お天気」と説く。その心は・・・?
- ③「ホワイトデー」とかけて、「円周率」と説く。その心は・・・?



答え↓ そのころは、どちらも・・・?

© 2019 Miyako Seishin. All rights reserved.